

柴原成一後援会
機関誌『アミーゴ』
vol. 6 (2012年1月号)

アミーゴ

アミーゴは「仲間」、Ami Go で「行け！阿見」、そしてふるさと「阿見郷」

(検討資料)

気がつけば責任重大、町民の付託も増大



町民の皆様方のご支援を受けて、柴原成一の町議会議員歴も8年目という長きに至りました。前例、慣行 etc. … 妙な約束事ばかりが多いお役所仕事の現場に飛び込んで、民間の営業センスを求めて悪戦苦闘してきました。

町政へのチェック機能を果たすべく目を光らせ、情報収集をし、提言・発言をし、さらに情報発信をしてきました。多少は付託に応えられたでしょうか。額に汗が光ります。

それでも気がつけば、肩書きばかりが増えて、町議会産業建設常任委員会委員長、町下水道事業審議会会長、道の駅準備検討委員会委員長を仰せつかって、こちらは責任の大きさに汗顔ものです。他に、阿見町行政改革特別委員会、阿見町都市計画審議会、阿見町景観審議会、阿見町国民健康保険運営協議会、阿見町企業誘致促進協議会、稲敷地域農業改良普及事業推進協議会 etc. … の各委員に名を連ねますが、名ばかりでなく、実をあげるよう、改めて取り組む覚悟を固める次第です。(写真は産業建設常任委員会委員長として県道開通の

テープカットに臨んだときのものです)

「町民総幸福量」という考え方

柴原成一は、自立した地域づくりを目指すため、これまでの自身の経験を踏まえ、農業や都市計画部門から多くの発言をしてきました。しかしこれからは、東日本大震災という大きな傷手を抱えた国にあって、少子高齢化が確実に進行する地域社会のありようも真剣に考え直さなければなりません。昨年国王夫妻が来日したブータン国の国民総幸福量 (GNH) という考え方がヒントになるようにも思います。皆様のご意見をお聞かせください。

柴原成一の町会議等における発言は、後援会ホームページで見ることができます。また、皆様のご意見を書き込むこともできます。「柴原成一」で検索し、アクセスしてください。

柴原成一後援会

〒300-1152 茨城県稲敷郡阿見町荒川本郷 1 1 6 3

Tel.029-842-7015 Fax.029-842-5978

URL <http://homepage3.nifty.com/sibaharasyouzi/index.htm>